

(セキュリティ・プライベート・ドクター活用事例インタビュー)

株式会社バンダイナムコホールディングス様



グループ全体の事業成長をサポートする サステナブルなセキュリティ体制構築に挑戦



株式会社バンダイナムコホールディングス

経営企画本部 サステナビリティ推進室

小林 聡 ゼネラルマネージャー

犬貝 宗秋 マネージャー

<https://www.bandainamco.co.jp/>

【会社概要】

2005年に株式会社バンダイと株式会社ナムコの経営統合により誕生したバンダイナムコグループの純粋持株会社。バンダイナムコグループは、パーパスである「Fun for All into the Future」のもと、家庭用ゲームやネットワークコンテンツなどのデジタル事業、玩具や模型などのトイホビー事業、映像・音楽コンテンツなどのIPプロデュース事業、アミューズメント施設などのアミューズメント事業といった幅広い事業を国内外で展開するエンターテインメントグループ。

今回、グループ全体のサステナビリティ、リスクコンプライアンス、情報セキュリティを統括している小林さんと犬貝さんから、セキュリティ・プライベート・ドクターの活用経緯や所感についてお話を伺いました。

グループ全体におけるセキュリティ意識の高まりがきっかけ

セキュリティ・プライベート・ドクターの活用に至った経緯を教えてください

これまでの情報セキュリティは事業会社の戦略に合わせて個別に強化を進めてきましたが、情報セキュリティに対するグループ内の意識の高まりや、サステナビリティの観点からもその重要性が年々増す中で、2022年にサステナビリティ推進室に情報セキュリティチームが創設されました。これを契機に、グループ全体のセキュリティレベルの向上とマインドの醸成を図る為の体制構築を進めることになりました。

しかし、グループ全体でセキュリティレベルを高水準に整合させるために、我々の事業にとって最適な推進方法や、また、グローバル企業として体制構築時に注意すべき視点が課題となっていました。

事業会社のカウンターパートとしてバランスよく統制を取りつつ事業全体をサポートするためには、外部からも必要な知識や情報を積極的に吸収し、責任を果たせる体制を整えることが大切だと考えたのがきっかけです。



小林 聡 ゼネラルマネージャー

導入の決め手になったポイントを教えてください

オリエント社のレスポンスは、非常にタイムリーでスピード感があり、こちらが求めている以上の情報を積極的に提供していただける点が印象的でした。形式的な対応にとどまらず、しっかりとオリエント社独自の見解を交え、弊社の目線でアドバイスをいただける点に、非常に力強さを感じました。

事業会社との効果的な連携、サポートの質の向上を実現

実際にサービスを受けてみて、特に評価しているポイントを教えてください

取り組み開始から 3 年目に入り、グループ全体の情報セキュリティベースラインの整備が進んだと感じています。特に、ホールディングスとグループ各社の役割・責任の棲み分けがしっかりと定義され、より効果的な連携ができるようになってきました。

これらの組み立てに必要な具体的なアクションプランの策定やグループ内での勉強会、法令対応などの社会的要請もしっかりと抑えたグループ全体の知見向上に役立つ情報が提供されていると実感しています。

また、ホールディングスは、事業会社からの相談や迅速な対応が求められる場合も少なくありません。我々が考えるフィードバック案に対しても、我々の視点を尊重しながら、専門家としての評価や客観的かつ実践的なアドバイスが提供されています。その結果、我々は自分たちの意見に自信を持ってグループの事業会社をサポートできるよう成長できたと思います。



犬貝 宗秋 マネージャー

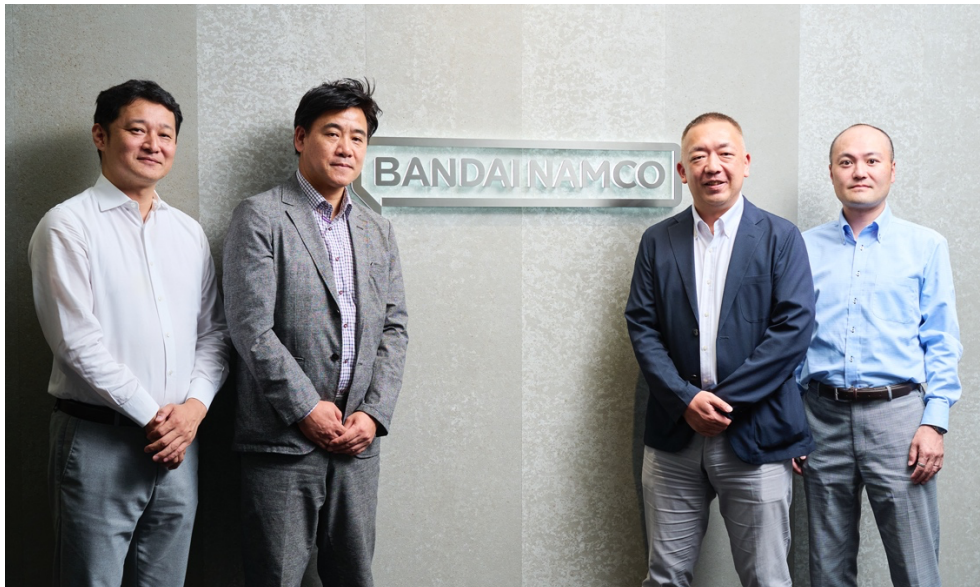
どの様な企業にお勧めできますか

時代やトレンドの変化に迅速に対応する企業では、常に事業リスクと対応方針の見直しが求められます。サステナブルな事業運営や成長を支えるためには、法令等の要請も含め適切に対応していく必要があります。そのような複雑な環境に向き合う企業にとっては、アドバイザリーサービスの活用は非常に価値が高いと考えます。

また、多業種・複合グループのような企業で、サプライチェーンや取引先を含めた実践的な統制の取り方やセキュリティの全体最適に関するナレッジやノウハウは、とても参考になります。

今後オリエントに期待することがあれば教えてください

日々進化するサイバー攻撃の脅威やリスク対策について、引き続き、いち早くキャッチして情報提供や提言をインプットして欲しいです。今後も優先度の高いセキュリティリスクから順番に解決していきたいので、対応案なども指南をお願いします。また、子会社なども急速に増えていますので、サプライチェーンを含めた対策や統制についてもご支援頂けると助かります。



以上